



動物看護師
×
PEPPY

みんなで“通じ合う”心。 ペットの“幸せ”のために。

飼い主様はもとより、動物病院も、動物看護師様も、ペピイも。
皆様で、たくさんの“愛情”を。

ペピイカタログは、秋冬号から内容・配布方法もリニューアルし、新たなスタートを切ろうとしています。より良いもの、より読者にとって価値あるカタログにするべく、行き着いた答え。それは、「飼い主様の声を聞く」「獣医師様のアドバイスを取り入れる」そして、いつも飼い主様を身近でサポートしている「動物看護師様」と一緒に、ペットとの暮らしのあり方について一緒に考える事でした。

「近い距離での飼い主様との触れ合い」でしか分からない、体験できない本当の心のコミュニケーションを軸に、親近感ある情報を一緒に協力しあいながら飼い主様へお届けできるよう、現役の動物看護師様3名の方に、「飼い主様への想い」や「飼い主様へ伝えたい事」等について、お話をうかがいました。

千里ニュータウン動物病院
動物看護師 田口彩乃様(左)
みゆう動物病院
動物看護師 朝倉舞佳様(中)
南大阪動物医療センター
動物看護師 加藤麻耶様(右)



ペピイ事業部
事業部長
平尾泰久(左)
ペピイスタッフ
牧野浩一(右)

飼い主様、ペット、 動物病院、みんな笑顔に。

ペットへの意識が高い皆様の、
その想いに全力で応えたい。

ペピイ 「飼い主様を取り巻く環境や、動物病院と、飼い主・ペットの関係について教えてください。」

田口 「最近特に感じるのですが、数年前と比べても、ペットへの意識が高い飼い主様が増えていると思います。ペット=家族の一員としての思いやりを強く感じます。」

朝倉 「意識の高い飼い主様は、比例して来院回数も多いです。定期検診も、ペットの為に受けさせる方が増えていますね。」

ペピイ 「意識が高い飼い主様は、どんな質問がありますか?」

加藤 「デンタルケア(ハミガキ)・体重管理(ダイエット)・しつけ(吠え癖・トイレ)等の質問は以前から多く、最近では「リハビリ」「ペットとの向き合い方」といった、ハイレベルな質問も増えてきました。」

田口 「だからこそすぐやりがいもあるし、その想いを大切に感じますよね。毎日新しい発見があって、飼い主様もとても成長なさって、その想いに応えるべく必死で勉強しています。分からなかったらうれしい(笑)」

朝倉 「飼い主様の想いに応えることは、その先のペットの幸せにつながると信じて。」

ペピイ 「私たちも、これまでにたくさんの飼い主様と対話する機会がありましたが、想いはひとつ。健康のための情報をお伝えするのも、良い商品を数ある中から選ぶのも、すべてはペットの笑顔のため。そういう飼い主様に出会えることは、私たちのモチベーションにもつながりますね。」



それぞれ違う動物病院の動物看護師様なのに、息がピッタリ! さすがコミュニケーションのプロですね。意見交換もスムーズです。



動物看護師×ペピイだからできる、
飼い主様へ伝えたいコト。

ペピイ 「ペピイが、動物看護師様の代弁になるような、飼い主様へ伝えていくべき事はありますか?」

田口 「たくさんありますが、中でも来院マナーについてとりあげて欲しいですね。目の前でマナー違反を見かけたら、飼い主様とペットのためにも真剣にお伝えしています。」

朝倉 「マナー違反は、実は知っていて守れていないのではなく、知らないから守れていない事が多いのではないのでしょうか。なかなか直接指摘しにくいのが正直なところですが、しっかりとお伝えできれば、みなさんマナー美人になってくれるんですよ。家族のためだから。」

加藤 「他では、飼い主様からどのペット用品がオススメなのかを聞かれることが多いのですが、その中でも特に、シニアグッズや情報について取り上げて欲しいです。吠え癖・破壊行動・分離不安の観点からの情報がとっても重要。犬を飼われている方に、今から心の準備や知識があれば、愛犬の長生きにつながっていくとお伝えできれば嬉しいです。」

田口 「私もシニアグッズに関しては、意識して飼い主様へオススメしています。少しでも長生きして欲しいのは、共通の想いです。」

ペピイ 「分かりました。今まで以上に飼い主様に喜ばれる情報を発信できるよう、がんばります!」

飼い主様と一緒に、ペットを応援したい！

動物看護師だからこそできる、
飼い主様への心のケア。



皆様が安心・信頼で
つながる良きパートナー。

ペピイ「動物看護師である皆様の、日々の業務・求められる役割について教えてください。」

田口「医療行為以外のほとんどを、私たちは行っています。動物看護師って、思いのほか体力仕事…そういったある種の、定められた仕事はどこでも求められるスキル。それ以上に、今もこれから先も求められる事は、診療以外での、飼い主様への心のケアですね。獣医師には直接相談しにくい話でも、私たち動物看護師になら、気楽に相談していただけます。」

朝倉「私もよく、食事について相談を受けます。「先生から止められているのに、実はつつい甘いものをあげてしまうの」といった話をよく聞きます(笑)」

加藤「そういった、飼い主様が内に秘めている事こそが、ペットにとってとても重要な事であると感じています。だからこそ飼い主様に積極的に話しかけ、コミュニケーションをとり話しやすい環境に出来る様、努めています。」

田口「そういう風にしてできた動物病院の雰囲気、来院しやすい環境につながれば気軽に立ち寄れる場所として、飼い主様も、ペットにとっても素敵なことなんじゃないかな。散歩がてらでもいいんです。いつでも身近な存在に感じてもらえると嬉しいです。」

ペピイ「これから先もペピイでは、動物看護師様と一緒に、飼い主様にとっての身近な情報を伝えていこうと思っています。」

田口「とっても素敵なことだと思います。私たちが勤務中の限られた時間の中で、お伝えできない事や想いを、ぜひ飼い主様にお伝えして欲しいです。」

朝倉「私たちの知らない情報や商品もペピイのカatalogを読んで、飼い主様へ提供できる知識として、どんどん取り入れていきたいです。」

動物看護師の皆様、ご協力いただきありがとうございました。そしてこれからも、よろしく願いいたします。

取材を終えて……

今回の座談会では、動物看護師様が、飼い主様とペットの健康で幸せな生活について真摯に考えていらっしゃることを再認識しました。それは動物病院様と飼い主様とのより良い関係作りにつながっていくと思います。これからもペピイは、動物病院で働く皆様の声を、飼い主様に伝えていきます。



獣医師様
動物看護師様
900人に
聞きました。

「飼い主様に 伝えたいコト」 アンケート結果発表!



飼い主様とペットに接する機会の多い動物病院様にアンケートを実施しました。飼い主様が普段から悩まれていることや、動物病院様が飼い主様に伝えたい大切なことをお聞きしています。

1. 吠えグセのお悩み対策

- 子犬の頃にしつけが出来ていないと、成犬になってから治らないことが多く、よく相談を受けます。(獣医師)
- 来院時に、ずっと吠えている愛犬をなだめるために、飼い主さんが困っているのを良く見ます。(動物看護師)
- インターホンに、吠えて困るという声が多い。クレートトレーニングの大切さを伝えたいですね。(動物看護師)

(複数回答)



2. 歯みがきの大切さ

- 歯みがきの方法が分からず、歯石がついて困っている飼い主さんが非常に多いです。(獣医師)
- 歯が抜けたり口が痛くて食べられなくなって初めて、重度の歯周病であるときづく飼い主さんが多い。(動物看護師)
- 病院に行けば歯石がとれると思う方が多く、普段からの手入れが重要であると伝えたい。(動物看護師)

お散歩のマナー

トイレトレーニング

シャンプーの仕方

フードの紹介

クレートトレーニング

スナックの与え方

肉球・耳・涙やけのケア

引っぱり防止トレーニング

近隣の住民や、通りすがりの方とトラブルになるケースが多く、とくに今、飼い主としてのマナーは注目されているようです。

大震災を経て、飼い主様の意識も変わっていると聞きます。いざという時のためにどんな準備を必要とするのか相談されることが多い様です。

3. 高齢犬の介護サポート

- 高齢化が進み、介護疲れする飼い主さんが多く、心のケアや事前準備の大切さを伝えて欲しい。(動物看護師)
- 若いうちから介護の知識を飼い主さんに理解してもらい、トレーニングする事の大切さを。(動物看護師)
- 認知症に対する処置法は、なかなか知識として持っている場所が無いので、ぜひ伝えて欲しい。(獣医師)

皆様、アンケートにご協力いただき
ありがとうございました!

